

グループプロセス応用講座

－グループの中での人間関係の理解と実践のために－ 応用コース

担当者	津村 俊充（南山大学人文学部心理人間学科教授） 中村 和彦（南山大学人文学部心理人間学科准教授）
概要	<p>この講座は、人間関係講座（グループ）を修了された方を対象として、グループの人間関係についてより深く理解し、グループに働きかける力を養うことをねらいとして開講します。</p> <p>具体的には、以下の3点の目標（ねらい）のもとにプログラムを実施します。</p> <ol style="list-style-type: none">①グループや他者に与えている自分の影響に気づく②グループの中での人間関係（グループプロセス）を捉える感受性を高める③グループやメンバーの成長に向けて働きかける視点やスキルを養う <p>この講座では、参加者は5～6名の小グループに分かれ、3日目の発表会に向けたグループ・プロジェクト（GP）に継続的に取り組み、そこでの体験をふりかえりながら、メンバー同士の間で起こっている事柄から学んでいきます。また、グループに関する理論の小講義も用います。</p> <p>グループの人間関係についての理解をより深めたいという方、グループプロセスを感じる力（感受性）を高めたい方、職場のチーム・ビルディングを試みたいというリーダーやマネージャーの方などにお勧めです。</p> <p>※GPはグループ・プロジェクトの略です。</p> <p>小講義として、「グループプロセスを観察する視点」「フィードバックの留意点」「グループの機能」「グループの発達・成長とは」等が適宜行われます。</p>
日程	2009年10月17日（土）～19日（月） 2泊3日 10月17日（土）10：00開始、10月19日（月）17：00終了予定
定員	24名
参加資格	当センターの人間関係講座を修了された方、またはそれに準ずる経験をお持ちの方（不明の場合はお問い合わせください）
会場	南山学園研修センター 【研修・宿泊】 〒466-0834 名古屋市昭和区広路町隼人30 電話 052-837-6466
受講料	受講料 27,600円 滞在費 16,050円（宿泊・食事・会場費を含む）
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 中村和彦 記</p> <p>今回で3回目の開催となる、グループプロセス応用講座は2009年10月17日（土）～19日（月）の2泊3日で、名古屋市昭和区の南山学園研修センターで行われました。参加者は20名で、北海道から沖縄までの全国から、さまざまなお仕事をお持ちの方々にご参加いただきました。</p> <p>セッションの基本的な構造は例年と同じでした。今年度のこの講座の改善点は、終了時間が1時間遅くなったことです。過去2年間は、3日目の全体のふりかえりに十分な時間を取れなかったのですが、今年度は各グループの変化・成長をふりかえり、意味づけるセッションの時間を設けることができました。</p> <p>グループの変化・成長を意味づけるセッションの後には、各グループの変化・成長について報告がなされました。「最初の頃から穏やかにゆっくり成長していった」というグループ、「雨降って、その後虹がかかった」というグループなど、それぞれのグループでさまざまな変化や成長の過程を聞くことができました。そして、改めて、グループは1つとして同じものはない、しかも、刻々と変化する、まさにグループは生き物だなあと感じました。そう考えると、1人の人間は、頭／手／足などの物理的な部位、知識／思考／感情／感覚／スキルなどの機能など、さまざまな要素から1つの構成体が成り立っているのと同じで、グループもさまざまなメンバー（それぞれの物理的な身体、性格や傾向、得意不得意や機能）から成り立っている1つの構成体と捉えることができますね。</p>